令和７年度シラバス

教　科	科　　目	単位数	履修学年・クラス
外国語	英語コミュニケーションⅠ（R）	1	１－２～１－６

１．学習の到達目標

平易な英語を使用することにより、英語を知る喜び、学ぶ楽しさを見つけ、英語に対する興味関心・問題意識が高まることを期すると共に、日常的な話題や社会的な話題に目を向け、考える機会を持つ。また、英文法の基礎学力の徹底を図る。

２．学習の計画

	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い
１学期	LESSON1［What Did You Do in Japan?］ LESSON2［When Do You Feel Happy?］	海外からの旅行者の日本での経験を知り、思い出に残っている経験について考える 　文法：be 動詞・一般動詞の過去形 ほかのひとの好きなことやその理由を知り、自分の好きなことについて考える 　文法：進行形
２学期	LESSON3［*Onigiri* Goes Overseas］ LESSON4［Pictograms］	海外でのおにぎりの人気を知り、紹介したい日本文化について考える。 　文法：助動詞 ピクトグラムについて知り、身の回りのピクトグラムを英語で紹介する 　文法：不定詞
３学期	LESSON5［Morita Yuko Hospital Facility Dog Handler］ LESSON6［Convenience Stores: Keys to Their Success］	ファシリティドッグとそのハンドラーの仕事について知り、自分が興味をもった職業について考える 　文法：動名詞 コンビニエンスストアの工夫について知り、自分の好きな店やよく行く店を英語で紹介する 　文法：that 節

３．評価方法・評価の観点

評 価 方 法	定期考査、提出物、授業態度、コミュニケーションを図ろうとする態度などの総合評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	情報を得るために必要となる語彙や表現、音声等を理解し、日常的な話題や社会的な話題についての情報や考えを伝える技能を身に付けるようにする。	聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、日常的な話題や社会的な話題についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えようとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

４．使用教科書・副教材

使用教科書	COMET English Communication Ⅰ（数研出版）
副　教　材	英和辞書 The New Victory Anchor（学研）